

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

新吉田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実績評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

住民の高齢化が進み、高齢者世帯、独居の増加がみられます。支援が必要な高齢者の増加とともに、相談・支援する中で、介護者となるべく、同居の息子さん等ご家族にも支援が必要なケースが増えております。区や生活支援センター等他機関、多職種と連携したご家庭全体の支援が必要です。一方で若年世帯、子育て世代の転入も続き、子育て支援、地域との繋がり作りが必要です。既存の子育て支援サロンの他、今年度新たに、地域活動によるサロンやNPO法人によるサロン等子育て支援に係るサロン等が誕生しております。まだまだ隣近所のお付き合いが残っていて、様々な活動や行事も活発で、地域の力を感じる地域です。特に2地区合同の徘徊高齢者さがしてネットの取り組みにより、徘徊高齢者が地域の中で保護される数も増えております。しかし、地域活動の担い手の高齢化や男性の参加が少なく、今まであまり参加されていない人達をいかに、地区活動の関わってもらうか、次世代の担い手の育成が課題と考えます。

(2) 総合相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

単位町内会の定例会や地区活動の会議等へのまめな参加やチラシの等の掲示場所の工夫により、来所相談が昨年度よりも70件増となり、地域に出向いた先での民生委員はじめの地域の方々からの相談は135件増となりました。民生委員等地域の方々と共に解決にあたる相談が増えていきます。

(3) 各事業の連携

委託事業のみならず、介護保険事業を含めた5部門が地域ケアプラザの機能を理解して一丸となって地域支援にあたりました。体操ボランティア育成講座では通所介護事業、おはなし会ワークショップでは、既存の子育てサロンの場を活用したボランティア育成の功が奏して、活動者の獲得に繋がりました。介護保険認定を受けていない高齢者を対象とした介護予防サロンはつらつクラブは、通所介護事業、生活支援コーディネーター、包括支援センターが連携して毎回約10名の参加がありました。介護予防活動支援事業では、通所介護事業の生活相談員が講師を担いました。地域に福祉施設が多いという特性を活かした、地域住民向けの施設見学会では、地域にある介護老人保健施設、居宅介護支援事業と地域包括支援センターが連携により、今年度も16名の地域の方々に参加され、地域に数多くある福祉施設の違いを学ぶ機会となりました。地域の情報や活動、個別支援等について生活支援コーディネーターが中心となり、

地域交流コーディネーター、包括支援センター3職種が密に情報共有し、住民が必要な支援や活動に繋がるよう取り組んだことが、年度末の事業実績評価で高く評価されました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

欠員なく職員を配置することが出来ました。新卒職員には経験豊富な職員がフォローするなど、相談したいしやすい環境を作りました。また、法人、部門別、施設全体としての研修を通して、職員の質の向上に努めました。アンケートの結果から、公正・中立が担保された相談業務であるという振り返りをしました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

単位町内会の会議への参加を通して、同じ課題を持つ2町会に介護予防の取り組みを次年度提案していくことになった。リンク主マネと共催した地域のケアマネジャーを対象とした勉強会を通して、生活支援コーディネーターとケアマネジャー、地域のインフォーマルサービスとの新たなネットワークを構築することが出来ました。また、新吉田あすなる地区の老人会とのネットワーク構築することが出来ました。

(6) 区行政との協働

地域福祉保健計画では所長と特に5職種のチームワーク良く、担当地区のサポートスタッフを担い、区や区社協と協働しました。これまで地域の身近な相談窓口、福祉保健の拠点として様々な地域活動や会議等に積極的に参加して、地域との信頼関係を築き、把握した課題を分析して解決に向けて、各地区にあった情報提供、支援をして参りました。今年度、その支援について消極的であるという趣旨の評価が区からありました。地区支援について、ケアプラザが把握する課題や短期、中期的な支援目標等、区担当職員と情報共有する新たな機会の必要性について職員間で振り返りました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

計画した5本柱に沿って、事業展開を行いました。継続的に繰り返し行うことで地域の中にケアプラザの事業として位置づけられるよう心がけて展開した。

- | | |
|------------|--|
| 1.高齢者支援 | 転倒骨折予防教室「さわやかクラブ」・男の料理教室・
粋な男の健康講座、丘の上の交流会、はつらつ倶楽部 |
| 2.子育て支援 | 子育てフリースペース「はぐピョン」 |
| 3.障がい者支援 | 学齢期障がい児余暇支援（こうほくからふる・
こうほくなつとも） |
| 4.ボランティア支援 | 体操ボランティア講習会・お話し会ワークショップ
盲導犬に会いに行こう・脳トレで仲間を増やそう |
| 5.地域支援 | 丘の上の音楽会・丘の上の交流会
上手な花の育て方
生活のしづらさを考えるシリーズ（成年後見）
地域の施設見学会 |

以上5本柱に沿った自主企画事業を企画し計画通りに実施いたしました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザと法人が共催して行うお祭りの運営の協力などお願いし、快くお引き受けいただいています。ケアプラザを貸館等にご利用いただいている方が個人で所属している趣味活動のグループなどもケアプラザの事業等へご協力いただき福祉活動への理解が深まるように働きかけを行いました。活動団体などの協力により地域向けの自主事業“丘の上音楽会”を年間4回、近隣福祉施設との交流を兼ねた“丘の上の交流会”を6回、開催することができました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

自主企画事業としてボランティア育成目的の講座を開催し、ボランティア活動へのお誘いを行いました。体操サロンのボランティアや園芸ボランティア、読み聞かせボランティアの活動へとつなぐことができました。また、広報誌等でボランティア募集の周知を行いお問い合わせをいただく等、ボランティア活動を広げる取り組みも引き続き行いました。さらに、貸館利用の方やデイサービスご利用者のご家族などの趣味活動がボランティアへつながるように働きかけを行い、デイサービスやケアプラザ自主事業の場でボランティア協力をしていただくことができました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地区社協が運営する「ボランティアセンターやすらぎの家」の運営会議や、地域のボランティア団体「ほっと新吉田」の役員会に定期的に参加し情報収集を行いました。会の抱える課題や、その時々々の困難な出来事に対しアドバイスをしたり共感したりすることができました。また、地区内にある高齢者の体操、サロン、子育てを支援する場へも積極的に向き、ケアプラザの行事やその時々々のトピックスなどを情報提供するとともに、これから起こりうる課題なども感じながら支援いたしました。

ひっとプランは第3期の推進となり、推進のための会議の場でもサポートスタッフとしての情報収集・情報提供し、活動支援いたしました。

広報誌は、引き続き地区の回覧板で回覧のご協力をいただき多くの方に見て頂けるよう見やすい紙面や印象に残るチラシ作りに努めました。また、ブログ、Twitter、facebook、区の広報、楽遊学など、様々な情報媒体も活用いたしました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

包括レベル地域ケア会議開催時に協議体を開催しております。ケア会議や運営協議会の意見交換でこれまでも課題として検討されていた、地域の中の活動場所の偏在やお食事も含めた集まる場がないことなどをテーマに話し合いを行いました。エリア内には福祉施設が多いことから、地域に対し協力してもらえることはあるかどうか、特に、活動場所への送迎ができるかどうかなどについて、協議体の場に福祉施設の方をお呼びしてお話しいただき、情報共有することができました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

横浜市で行った「健康とくらしの調査」から新吉田エリアを抽出し、区や市の平均と比較し運動機能や近隣とのつながり、家族等からの支援について数値から見える地域像を検討いたしました。新吉田エリアは体操をテーマにしたインフォーマルグループがたくさんある割に、75歳を過ぎると運動機能の低下が著しいということがわかりました。そのような状況をケアプラザ内はもちろん、協議体や地域の様々な活動の場で共有することができました。

(3) 連携・協議の場

ひっとプランの会議、やすらぎの家の運営会議、ボランティアグループほっと新吉田の役員会等、地域の担い手が集まる場へ積極的に出向きました。29年度は単位町内会の班長さんが集まる場へ順番に出向き、ケアプラザの機能や役割をお伝えするとともに、日常生活支援体制整備についてもお話しする事が出来ました。それぞれの会議の場では、地域の方々のご意見をうかがうだけでなく、必要に応じてアドバイスなども行いました。検討や意見交換の場が少ない地域とも、少しずつ関係性を深めることができました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1層協議体への参加や、1層協議体へ参加する地区の方をサポートするなど広域なエリアで関わりがもてるよう取り組みを行いました。区域の会議等で他地区での課題を知ったり、自分の地区の課題を他の方々とも共有したりすることができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

各地区のパイプ役を積極的に担い、2地区全体のネットワーク構築を目指して参りました。

- ・地区の徘徊ネットワーク“さがしてネット”に関しても地域の集まりに出席し、模擬訓練への参加や、メール登録を積極的に推進して参りました。この模擬訓練により、ケアプラザが地域の相談窓口であることの周知も併せて行うことができました。
- ・この地区の特色である地域の中に数多くある福祉施設と地域の方々が繋がる取り組みを実施してきました。地域密着型事業所の運営推進会議にも積極的に参加し、施設や地域の方々との関係作りに取り組みました。
- ・地域ケア会議の充実を図り、関係機関および関係者に参加を求める取り組みを行い、地域包括ケアシステムの実現に向けての活動を行いました。

② 実態把握

個人情報取扱いに注意しながら、地域の集まりへの参加や個別の訪問、また一人暮らし見守り事業の情報について民生委員や地域の医療機関・地域住民等と連携し、情報交換を行いました。その結果、困難事例の対応やサービスにつなげていない方の掘り起こしが可能となりました。

- ・可能な限り訪問を行って、地域の課題および状況の把握に努めました。見つけられた課題についてはケアプラザ全体で共有し、各事業に反映させることができました。

③ 総合相談支援

- ・町内会の会合や民生委員児童委員定例会に定期的に参加し、顔の見える関係作りと包括のチラシを配布するなどして、総合相談窓口があることを周知してきました。
- ・地域の方から相談されやすい信頼関係を築き、適切な機関や制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローを行ってきました。
- ・積極的なアウトリーチを心掛け、ケアプラザに来所できない方については積極的に訪問を行いました。
- ・緊急対応や困難ケースについても利用者の背景を理解し、必要に応じて区役所や関係機関との連携を図ってきました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・地域の方の消費者被害や振り込め詐欺被害の防止に向けて周知や相談を受け、また成年後見制度の相談など、必要に応じて関係機関への橋渡しや申し立ての支援を担ってきました。
- ・昨年度関心の高かった、相続・遺言についての講座を開催し、弁護士による無料個別相談会も開催、権利擁護の視点を貫いた支援に努めました。
- ・法テラス無料相談会や行政書士無料相談会を開催し、遺言や相続も含めた相談の支援をして参りました。成年後見制度の研修などに積極的に参加し、それを相談業務に反映し、業務に取り組んできました。

② 高齢者虐待への対応

- ・日頃から地域住民、地域関係団体、居宅介護支援事業所との連携を図り、相談・通報しやすい関係の構築をつくり、早期発見・早期対応に努めて参りました。
- ・地域住民への高齢者虐待防止の理解を深める広報・啓発活動を行い、虐待の相談を受けた際は、区へ報告、調査、役割分担を確認して速やかな対応を意識し、業務に取り組ましました。
- ・「高齢者虐待防止ハンドブック」の研修をデイサービスなど事業所向けに開催しました。
- ・高齢者虐待防止連絡会に参加して、個別の具体的な介入方法や予防のための見守り活動等の理解を深めました。

③ 認知症

- ・ 認知症サポーター養成講座を一般市民向け・事業所向けに開催し、認知症の人やその家族を見守る地域作りを支援してきました。その中で、かえるネットやさがしてネットなどの徘徊ネットワークを周知し、啓発普及活動に取り組んできました。
- ・ 今年度も介護者のつどいを定期開催し、介護者同士の交流の場とリラックスできる場を提供し、介護を継続するための支援を行ってまいりました。毎回、講座も開催し、情報共有の場にもなり、多くの方にご参加いただきました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 地区の民生委員・児童委員協議会に定期的に参加しながら、必要に応じて勉強会や他職種との交流会等を開催していきました。民生委員とケアマネジャーとの交流・情報交換会を開催し、顔の見える関係作りと連携を深めました。
- ・ 保健活動推進委員や消費生活委員の方々との共催による勉強会の機会を設けました。
- ・ より緊密な地域ネットワーク化を目指し、グループホームや老人保健施設・小規模多機能ホーム・地域密着型デイサービスの運営会議に参加し、施設と地域の橋渡しを行いました。
- ・ 認知症サポーター養成することで、地域に認知症の理解を広め、地域の見守りネットワーク構築して参ります。新規のキャラバンメイトの発掘にも努めました
- ・ 地域の介護予防活動（体操教室やサロン）が求めるミニ講座（口腔ケア・栄養・認知症および予防）を行いました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 区や各関係機関との情報の共有および連携に努めました。
- ・ 地域ケア会議の開催と協力の呼びかけを行い、医療機関との連携を強化しました。
- ・ 医療機関・薬局等に包括案内チラシや介護者の集いの年間予定表を掲示してもらえよう訪問依頼し、適時、連絡を取りながら継続的に連携できるよう体制を整えました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ LINK 主マネ（地域の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの連絡会）や丘の上の勉強会に参加し、顔の見える関係づくりを強化しました。また丘の上の勉強会と連携を図り、ケアマネジメントの質の向上の為に、勉強会や交流会を開催しました。
- ・ 毎年行っているインフォーマルリストなどの地域情報の更新や編集を行い、ケアマネジャーに配布しました。さらに今年度は、包括担当エリア内のインフォーマルサービス情報を冊子にまとめ、ケアマネジャー勉強会で情報提供を行い、連携に向けたきっかけとなった事と事業実績評価で高く評価されました。地域の居宅介護支援事業所の訪問を通じて、顔の見える関係作りを強化し、最近の制度やサービスの情報提供をします。また、担当している支援が困難なケースの把握や支援ができるようにしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域ケア会議を定期的開催し、地域の課題を民生委員、ボランティア等と介護保険事業所、医療機関と住民と交えて検討しました。
なるべく多くの地域の課題を検討できるよう心掛け、今年度、個別レベルは年3回、包括レベルは年2回開催しました。
- ・ 包括レベルの地域ケア会議には、担当エリア内にある特別養護老人ホーム3施設、(老人保健施設2施設 文書で回答)をお招きして、地域の介護予防の取り組みについて意見交換しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- ・ 要支援者の意欲を引き出し、主体的に目標に取り組むことができる介護予防ケアマネジメントを行いました。
- ・ 介護保険のサービス以外のインフォーマルサービスも積極的にプランに取り入れていきます。また委託する場合にはケアマネジャーが適切なケアマネジメントが実践できるよう支援しました。
- ・ 介護予防ケアマネジメントに関する勉強会を行い、ケアマネジメントの質の向上を目指しました。
- ・ 毎年行っているインフォーマルサービスのリストの更新を行い、ケアマネジャーに配布しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 高齢者全般を対象とした介護予防教室、男性も参加しやすい男性を対象とした介護予防教室を年12回開催し、介護予防普及啓発に取り組みました。
- ・ ボランティア育成支援として、地域の介護予防体操会やサロンを対象とした、体操リーダー養成講座を開催しました。
 - ・ 地域にある介護予防体操会やサロンボランティア活動団体・グループの集いであるボランティア連絡会を開催しました。
 - ・ 地域と連携したウォーキング事業を企画し、横浜市のウォーキングポイント事業の推進を支援しました。
 - ・ シニアいきいきポイント事業の周知と参加のための研修会を開催し、事業の推進を支援しました。
 - ・ 地域住民、企業と連携を図り認知症講座の開催し、認知症理解の普及啓発に努めました。
 - ・ 新たな元気づくりステーションの設立支援を行いました。活動の担い手が確保できず、設立には至りませんでした。
 - ・ ケアプラザ・包括の周知の為、広報紙やブログの最新情報の発信等情報発信の工夫に取り組みました。また地域の医療機関、薬局、コンビニ等にチラシの配布、掲示依頼を積極的に行いました。

5 その他

5部門の年1回のアンケート結果は、概ね良い結果でした。引き続き介護保険事業では、わかりやすい言葉で丁寧な説明に心がけます。引き続き、広報紙やブログの最新情報の発信等情報発信の工夫に取り組めます。また、包括支援センターの公正・中立性についてのアンケートの結果から、担保された業務であることを振り返る機会を持ちました。10月に開催した共生まつりでは、保健活動推進員等地域のボランティアのご協力のもと、800人以上の来場者があり、ロコモ予防ブースを設けて介護予防普及啓発にも取り組みました。

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

担当職員及び委託業者により建物・設備等の保守点検を定期的を実施して異常の早期発見に努めました。今年度は早朝の停電の影響による入浴サービス中に適温の湯が出なくなるというハプニングがあり、ボイラーの復旧作業について、職員間で改めて確認する機会を持ちました。その後は事業執行に支障きたすようなトラブルはありませんでした。

(2) 効率的な運営への取組について

毎月開催する職員会議等の中で、各部門にとらわれることなく全職員が情報共有し、4部門の機能と専門性をいかに地域に活かせるかを常に考察して事業運営に取り組みました。また、限られた予算の中で効率的な運営を行うために、各職員が予算管理を意識して、資源の有効活用に心がける等経費の削減に取り組みました。

(3) 苦情受付体制について

苦情や要望に迅速かつ適切に対応できるように、法人の福祉サービスに関わる苦情解決運用要領の中で、法人内苦情受付担当者、第三者委員会、苦情解決責任者及び苦情解決調整委員会が設置されています。また職員の人権意識の現状把握、啓発及び研修を目的として、人権委員会を設置し本制度を補完しております。事業所長は苦情解決調整委員、地域包括支援センター社会福祉士が苦情受付担当者を担い、館内に掲示しております。客観性の確保などご利用者の立場に配慮した苦情解決第三者委員4名を配置されております。苦情解決第三者委員に直接ご意見が言える形として、館内入口にポストを設置し、また、館内入り口脇にご意見箱設置しております。

今年度、苦情受付書を作成する苦情はございませんでした。

介護保険事業では3件の要望があり対応しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

今年度も6月と11月に防災訓練の計画し、通報訓練・初期消火訓練・避難誘導・救命訓練を実施して、職員等の防火意識の啓発と資質の向上に努めました。また防火管理体制表に沿った訓練を実施し、避難誘導時の各職員の役割分担を再確認しました。併設の入所施設とともに、近隣施設と近隣町内会や自治会、横浜市立新田小学校との災害時応援協定による応援協力のもと、緊急時の迅速な対応に備えました。ケアプラザ閉館時は併設施設の防犯等緊急時に備えた宿直体制と連携しました。

(5) 事故防止への取組について

安心安全なサービス提供ができるよう、会議等で日々のサービス提供の振り返りを行いました。安全運転の取り組みとして、引き続きスマイリングロードの運転状況の点数化のデータを活用し、自己点検と安全運転指導を行いました。また、今年度もドライバー1名が外部の安全運転研修を受講しその報告研修をしました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法令および横浜市の個人情報保護条例や法人の個人情報管理規程に基づいて、適切な対応に努めました。個人情報保護に関する基本方針や個人情報の利用目的について等を館内に掲示して、個人情報保護の意識を高めました。職員は個人情報漏えい事例の情報共有等回覧研修を含めた研修を実施しました。また個人情報漏えい防止チェックシートによる自己点検での振り返りを実施して定期的な注意喚起に努めました。職員各自が、忙しくても、その取扱いルールを守るという意識を高めて参りました。今年度はUSBの管理について、あらためて振り返りの機会を持ちました。

(7) 情報公開への取組について

運営協議会や法人機関紙「共生」やケアプラザ広報紙「てっぺんひろば」の発行、法人、区のホームページ、介護保険事業では介護サービス情報公表などにおいて、地域の皆様に、わかり易く親しみやすい手段・方法での情報公開に努めました。地域交流部門のブログも有効に活用しました。また、法人の情報公開規程に基づいた情報公開に取り組み、当法人が提供するサービスを安心して利用できるよう理解と信頼を促進に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

年間研修計画の中に、法人の倫理規定や個人情報保護・プライバシー保護の重要性について、学び振り返る機会を持ちました。法人の理念と宣言に基づき、法人の各事業所より人権委員が選出され、人権委員会が設立されています。法人人権委員会が主催する、人権研修が11月に開催され、法人全体で人権について学び振り返る機会を持ちました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市のゴミの減量化・資源化・省エネ・緑化の推進に積極的に取り組みました。毎月、生ゴミ、プラゴミ等種類別にゴミを測量して数値で示し、職員の減量化への意識を高めて参ります。ゴミの減量化・資源化等計画書に基づき、減量化・資源化に取り組みました。夜間電力利用熱交換システム・水道水節水システム等が設置されているためこれらを有効に活用するとともに、ペットボトルの回収、裏紙の再利用等に引き続き取り組みました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

主任ケアマネージャー	1名（常勤）
保健師	1名（常勤）
社会福祉士	2名（常勤・1名 管理者兼務）
ケアマネージャー	1名（非常勤）

《目標》

- ・ 要支援者の意欲を引き出し、主体的に目標に取り組むことができる、介護予防ケアマネジメントを目指していきます。
- ・ 介護保険のサービス以外のインフォーマルサービスも積極的にプランに取り入れていきます。また委託する場合にはケアマネージャーが適切なケアマネジメントが実践できるよう支援します。
- ・ 介護予防ケアマネジメントに関する勉強会を行い、ケアマネジメントの質の向上を目指します。
毎年行っている、インフォーマルサービスのリストの更新を行い、ケアマネージャーに配布していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を超える地域への訪問および出張の際には、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

法人内の弁護士・臨床心理士・医師等の専門職に相談しやすい環境です。

《利用者実績》

※ 単位はしてください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
160	162	161	168	162	169
10月	11月	12月	1月	2月	3月
170	165	170	165	161	168

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 管理者(常勤兼務) 1名
常勤専従 4名

《目標に対する成果等》

- 1 住み慣れた地域でその人らしく自立した生活を営むことを目標とし、ご利用者の意思を尊重し、心身や置かれている状況等に応じた、居宅サービス計画の作成に努めました。
- 2 サービスの提供にあたっては、サービス種類や事業所の偏ることなく、また介護保険サービスのみならず、地域のインフォーマルサービス情報も情報提供してご利用者自身にあった、より良いサービスをご自身で選択できるように支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域を超える地域への訪問・出張する際にはその旅費(実費)のご負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・近隣の居宅介護支援事業所との自主勉強会「丘の上倶楽部」での事例検討や最新のサービス動向把握、新吉田地域ケアプラザ包括支援センターの主任ケアマネジャーが中心となり「障害者総合支援法について学ぼう」「課題整理総括表を学ぼう」「虐待防止ハンドブックについて」をテーマにした勉強会を開催。また新吉田地区、新吉田あすなる地区の民生委員を招いての「民生委員との懇談会」なども開催しました。
- ・同法人四か所の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、資質向上を目的とした制度改正の読み込みや情報交換、事例検討等の研修など、定期的な会議の中で実施しました。
- ・担当地域にある、数多い福祉施設の違い等を地域の方々に情報提供、福祉施設の理解を深めることを目的とし、地域の福祉施設見学会(第10回)を近隣の介護保険施設、同法人の地域ケアプラザと共催で平成30年3月10日(土)に開催し、16名の地域住民の方が参加されました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
94	94	98	103	107	106
10月	11月	12月	1月	2月	3月
104	107	106	111	107	105

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- サービス計画書の作成
- 介護サービス（送迎・入浴・昼食・機能訓練）
- 健康チェック（体温・血圧・一般状態の観察）
- 生活相談の助言・指導

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 780円
 - （要介護2） 911円
 - （要介護3） 1045円
 - （要介護4） 1180円
 - （要介護5） 1315円
- 食費負担 750円
- 介護職員処遇改善加算（合計単位数の2.3%）
- サービス提供体制加算（1割負担分）6円
- 入浴介助加算（1割負担分）54円
- キャンセル料金（食材費） 500円（利用当日キャンセルの場合）

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:00 ~ 16:00

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 3名（常勤兼務）
- 看護職員（機能訓練員兼務） 4名（常勤兼務1名 非常勤兼務3名）
- 介護職員 18名（常勤兼務3名 非常勤兼務15名）
- 送迎職員 7名（非常勤兼務）
- 事務職員 1名（常勤兼務）

《目標（取組、達成状況）》

- ・ ゆったりとした自由な空間の中でご自身が楽しみを見つげられるように支援し、日常生活動作の1つ1つがリハビリと捉えて意識して残存機能の低下を防止しました。
- ・ 職員やお仲間と安心して過ごせる社会交流の場を提供しました。
- ・ 個別ニーズに沿った適切なサービス提供に努めました。
- ・ 食前の口腔周辺の体操や食後の口腔ケアの励行により、高齢者に多い誤嚥性の肺炎の発症防止に努めました。
- ・ 介護者の介護負担軽減に期するサービス提供に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 入浴・排泄等の介助については同性介助をしております。
- ・ 曜日ごとにクラブ活動があり（手芸・書道・絵画など）楽しんで頂いています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
59	58	62	66	70	67
10月	11月	12月	1月	2月	3月
64	64	67	69	64	62

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- サービス計画書の作成
- 介護サービス(送迎・入浴・昼食・機能訓練)
- 健康チェック(体温・血圧・一般状態の観察)
- 生活相談の助言・指導

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

- 1割負担分
 - (要支援1) 1830円
 - (要支援2) 3752円
- 介護職員処遇改善加算(合計単位数の2.3%)
- サービス提供体制加算(要支援1 1割負担分) 25円
(要支援2 1割負担分) 51円
- 食費負担 750円
- キャンセル料(食材費) 500円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 10:00 ~ 15:00

《職員体制》

- 管理者 1名(常勤兼務)
- 生活相談員 3名(常勤兼務)
- 看護職員(機能訓練員兼務) 4名(常勤兼務1名 非常勤兼務3名)
- 介護職員 18名(常勤兼務3名 非常勤兼務15名)
- 送迎職員 7名(非常勤兼務)
- 事務職員 1名(常勤兼務)

《目標》

- ・ ゆったりとした自由な空間の中でご自身が楽しみを見つけられるように支援し、日常生活動作の1つ1つがリハビリと捉えて意識して残存機能の低下を防止しました。
- ・ 残された力で生活の喜びと自信を感じていただけるよう支援しました。
- ・ 職員やお仲間と安心して過ごせる社会交流の場を提供しました。
- ・ 個別ニーズに沿った適切なサービス提供に努めました。
- ・ 食前の口腔周辺の体操や食後の口腔ケアの励行により、高齢者に多い誤嚥性の肺炎の発症防止に努めました。
- ・ 介護者の介護負担軽減に期するサービス提供に努めました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・ 入浴・排泄等の介助については同性介助をしております。
- ・ 曜日ごとにクラブ活動があり(手芸・書道・絵画など)楽しんで頂いています。

《利用者実績(契約者数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
21	20	17	17	16	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	16	16	16	17

平成29年度「新吉田地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,427,721	321,731	16,105,990	16,105,990	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	70,650	70,650	自主事業参加費
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	9,770	9,770	
印刷代	0		0	9,770	9,770	コピー代
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	16,427,721	321,731	16,105,990	16,186,410	80,420	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	9,026,477	1,662,523	
本俸	7,314,000		7,314,000	5,576,221	1,737,779	給与本俸
社会保険料	850,000		850,000	880,037	30,037	健康保険料・厚生年金料・雇用保険料・労災保険料等
手当計	2,024,000		2,024,000	2,288,769	264,769	期末手当・超過勤務手当・通勤手当等
健康診断費	30,360		30,360	26,852	3,508	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	470,640		470,640	254,598	216,042	特養手当等
事務費	640,800	0	640,800	1,547,599	906,799	
旅費	30,000		30,000	38,241	8,241	市内出張交通費
消耗品費	138,000		138,000	268,443	130,443	事務用品代・コピー用紙代等
会議賄い費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	
通信費	211,800		211,800	464,016	252,216	電話代・後納郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	111,504	111,504	防災カーテン・コピー機リース料等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	80,000		80,000	88,397	8,397	施設賠償責任保険料
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	16,000		16,000	14,711	1,289	月末支払振込料・給与振込料
リース料	100,000		100,000	83,143	16,857	玄関マット賃借料・会計ソフト賃借料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	5,000		5,000	5,000	0	新羽地区健民祭協賛費
その他	0		0	474,144	474,144	広報紙・コピー機保守・カラープリンター保守料等
事業費	1,187,829	0	1,187,829	379,089	808,740	
運営協議会経費	42,000		42,000	11,284	30,716	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,145,829		1,145,829	367,805	778,024	予算：指定額
管理費	3,054,972	0	3,054,972	3,247,086	192,114	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	891,000	0	891,000	1,109,919	218,919	光熱水費
電気料金	292,000		292,000	721,447	429,447	
ガス料金	145,000		145,000	111,000	34,000	
水道料金	454,000		454,000	277,472	176,528	
清掃費	1,400,000		1,400,000	1,613,942	213,942	貸館日常清掃・定期清掃費
修繕費	474,000	0	474,000	152,269	321,731	予算：指定額
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	190,000	0	190,000	215,239	25,239	
空調衛生設備保守	80,000		80,000	30,174	49,826	空調衛生設備保守
消防設備保守	10,000		10,000	6,830	3,170	消防設備保守
電気設備保守	80,000		80,000	154,609	74,609	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	6,924	1,924	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	15,000		15,000	16,702	1,702	水質検査等
共益費	0		0	0	0	
その他	99,972		99,972	155,717	55,745	植栽管理・発電機保守料
公租公課	855,120	0	855,120	722,118	133,002	
事業所税			0	0	0	
消費税	855,120		855,120	722,118	133,002	消費税
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	16,427,721	0	16,427,721	14,922,369	1,505,352	
差引	0	321,731	321,731	1,264,041	1,585,772	

自主事業費収入	1,145,829		1,145,829	0	1,145,829	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	1,145,829		1,145,829	367,805	778,024	
自主事業収支	0	0	0	367,805	367,805	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「新吉田地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,196,916	463,531	27,733,385	27,733,385	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	25,000	25,000	男の料理教室教材費(参加者負担分)
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,136,916	463,531	33,673,385	33,698,385	25,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,999,000	0	30,999,000	31,218,964	219,964	
本俸	17,673,000		17,673,000	16,352,113	1,320,887	給与本俸
社会保険料	4,125,000		4,125,000	3,946,384	178,616	健康保険料・厚生年金料・雇用保険料・労災保険
手当計	8,000,000		8,000,000	9,782,860	1,782,860	期末手当・超過勤務手当・通勤手当等
健康診断費	50,000		50,000	46,859	3,141	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	1,151,000		1,151,000	1,090,748	60,252	特業手当等
事務費	365,143	0	365,143	1,938,889	1,573,746	
旅費	40,000		40,000	35,235	4,765	市内出張交通費
消耗品費	100,000		100,000	307,496	207,496	事務用品代・コピー用紙代等
会議備い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	182,143		182,143	496,937	314,794	電話代・後納郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	226,092	226,092	コピー機リース料・軽自動車リース料等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	5,000		5,000	69,062	64,062	研修費
振込手数料	10,000		10,000	15,975	5,975	月末支払振込料・給与振込料
リース料	28,000		28,000	23,322	4,678	会計ソフト賃借料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	764,770	764,770	募集広告費・広報誌・軽車両保険料・コピー機保守料等
事業費	2,015,715	0	2,015,715	530,997	1,484,718	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	925,715		925,715	76,900	848,815	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	170,264	19,264	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	31,833	277,167	予算:指定額
管理費	757,058	0	757,058	863,126	106,068	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	235,800	0	235,800	295,041	59,241	光熱水費
電気料金	77,800		77,800	102,241	24,441	
ガス料金	38,000		38,000	50,000	12,000	
水道料金	120,000		120,000	142,800	22,800	
清掃費	47,000		47,000	429,019	382,019	貸館日常清掃・定期清掃費
修繕費	126,000		126,000	40,469	85,531	予算:指定額
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	46,820	0	46,820	57,206	10,386	
空調衛生設備保守	19,500		19,500	8,019	11,481	空調衛生設備保守
消防設備保守	1,900		1,900	1,814	86	消防設備保守
電気設備保守	21,000		21,000	41,096	20,096	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	820		820	1,840	1,020	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	3,600		3,600	4,437	837	水質検査等
共益費	0		0	0	0	
その他	301,438		301,438	41,391	260,047	植栽管理・発電機保守料
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	34,136,916	0	34,136,916	34,551,976	415,060	
差引	0	463,531	463,531	853,591	390,060	

自主事業費収入	1,385,715		1,385,715	25,000	1,360,715	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,385,715		1,385,715	278,997	1,106,718	
自主事業収支	0		0	253,997	253,997	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:新吉田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	1959	16784	52199
その他		5564	213	14828	0
介護予防ケアマネジメント 費		3777			
介護予防プラン委託料		1787			
個人負担金・食費収入				13158	
利用者等外給食収入				1068	
認定調査委託料			213		
雑収入・他				602	
収入合計(A)		7523	16997	67027	3268
支出		人件費	667	12062	
	事務費	500	1973		4310
	事業費		362		6204
	管理費				8637
	その他	1787	0		2208
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	1787			
	利用者等外給食費				1159
	減価償却費				1049
その他 雑費					
支出合計(B)	2954	14397		79438	
収支 (A) - (B)		4569	2600	-9143	

平成29年度 自主事業収支報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
高齢者虐待ハンドブック研	民生委員、地域の方	0	地活					
	2回21名		包括					
	無料		介護					
			生活					
体操ボランティア育成講座	地域の方	80,235	地活	56,165				
	5回61名		包括			75,000		
	無料		介護					5,235
			生活	24,070				
上手な花の育て方	地域の方	62,737	地活	29,737				
	5回47名		包括		33,000			
	1人3000円(材料費)		介護			15,000	42,860	4,877
			生活					
おはなし会ワークショップ	地域の方	32,735	地活	32,735				
	5回37名		包括			30,000		
	無料		介護					2,735
			生活					
共生まつり	地域の方	0	地活					
	1回1000名		包括					
	参加費無料、飲食実費		介護					
			生活					
施設見学会	地域の方	0	地活					
	1回16名		包括					
	500円(昼食代)		介護					
			生活					
福祉保健セミナー 介護予防入門講座 コグニサイズ体験会	地域の方	0	地活					
	1回27名		包括					
	無料		介護					
			生活					
盲導犬に会いに行こう	小学校3年生～中学生と	2,847	地活	2,847				
	1回21名		包括					2,847
	無料		介護					
			生活					
言・成年後見セミナー&無	地域の方	2,767	地活					
	1回15名		包括	2,767				2,767
	無料		介護					
			生活					
脳トレで仲間を増やそう	地域の方・活動リーダー	12768	地活					
	2回21名		包括				10000	
	無料		介護	12768				2768
			生活					
丘の上の交流会	地域の方	0	地活					
	6回201名		包括					
	無料		介護					
			生活					
丘の上倶楽部	地域の民生委員	3,920	地活					
	1回24名		包括	3920				3,920
	無料		介護					
			生活					

平成29年度 自主事業報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>【対象者】 介護をしている方・介護をしていた方・関心がある方</p> <p>【目的】 介護者の方々にいつでも悩みを話し合える場があるということを知っていただき、肉体的にも負担が軽くなることを目的として開催。</p> <p>【実施内容等】 配食サービスの試食会、福祉用具を知ろう、足浴・車いす体験、高齢者施設や住宅について、排泄介護のミニ知識とおむつ、介護者のためのリフレッシュを実施。すべての会で茶話会も行った。当日の相談役として、介護を考えるぶどうの会に協力をお願いしている。</p>	奇数月第2木曜日 年間6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター	<p>【対象者】 地域の方・老人会の方</p> <p>【目的】 認知症を正しく学び、認知症になった人や家族の気持ちを理解する ・認知症の特徴を理解し、よりよい対応方法がとれるようにする ・徘徊に対応している機関を知り、住民が声掛けや連絡をできるようにする ・キャラバンメイトの活動と必要性を周知し、キャラバンメイトの増員を目指す</p> <p>【実施内容等】 ・認知症についての講座 ・キャラバンメイトさんによる寸劇（認知症の方への関わり方や対応について） ・キャラバンメイトさんによる朗読（認知症の方の心情を綴った詩の朗読） ・キャラバンメイトの活動紹介とメイトになられた感想をインタビュー ・区やCPから情報提供</p>	6月10日 10月12日 3月8日 3月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ倶楽部	<p>【対象者】 65歳以上で介護保険を利用していない方</p> <p>【目的】 要介護状態になることを防止するための取り組み</p> <p>【実施内容等】 認知症予防として簡単な計算問題や漢字の書き取り等 転倒骨折予防と認知症予防として、全身のストレッチ、筋力トレーニング、コグニサイズ等 ボランティアによる昼食の提供 包括支援センターによる、ミニ講座の開催</p>	毎月第2日曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
法テラス無料法律	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 地域の方の困りごとを、弁護士に相談できる機会として実施。</p> <p>【実施内容等】 法テラス神奈川より派遣された弁護士1名による個別無料相談会を実施。1枠30分とし、1回3枠で設定した。</p>	6月17日

平成29年度 自主事業報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はぐピョン	<p>【対象者】 未就学（主に幼稚園入園前）の子どもと保護者</p> <p>【目的】 安心して子どもを遊ばせることができる場の提供と保護者の交流・情報交換のための場の提供。また、読み聞かせや保育ボランティア育成のための機会として開催。</p> <p>【実施内容等】 多目的ホールを解放したフリースペース。ボランティアによる手遊びや歌の時間も取り入れて行う。参加者のうち、希望者はデイサービスで高齢者との交流の時間もあり。</p>	第2月・第4木 年間24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやかクラブ	<p>【対象者】 地域の高齢者</p> <p>【目的】 身近な場で健康体操の実施、福祉保健の情報提供の機会</p> <p>【実施内容等】 運動講師による転倒骨折予防体操の実施。フットケアや包括支援センター職員による福祉保健に関する情報提供等。</p>	第1・第3月曜日 年間24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
丘の上の音楽会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 音楽を通じた、心地よい時間の提供と、ケアプラザに足を運んでいただくことで、ケアプラザを知っていただき機能や役割をご理解いただく。</p> <p>【実施内容等】 アルパ演奏・女性ヴォーカルアンサンブル・ピアノ演奏・ジャズ演奏の4回を実施</p>	6月4日 9月3日 11月19日 3月4日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
丘の上の交流会	<p>【対象者】 デイサービス利用者・地域の介護保険施設の利用者</p> <p>【目的】 地域で介護保険を活用しながら生活されている方々が、安心して外出できる場としてイベントを実施。また、ケアプラザ等で活動しているボランティアの活躍の場として開催。</p> <p>【実施内容等】 民謡グループ楽による演奏会・ギターアンサンブルパルスイートによる演奏会・いきいきクラブによるバラエティーショー（2回）・サマーニャによるベリーダンス披露・蛇腹隊によるバンドネオン演奏会を開催</p>	5月20日 7月12日 8月26日 9月25日 12月23日 2月17日

平成29年度 自主事業報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こうほく☆からふ	<p>【対象者】 個別支援級に通う小学生～障がいがある高校生</p> <p>【目的】 ケアプラザ職員やボランティアと一緒に楽しい時間を過ごす。障がい者に理解あるボランティアの育成。</p> <p>【実施内容等】 八景島シーパラダイス（中学生）とボランティア 上野動物園（高校生）とボランティア みなとみらい技術館（小学生）とボランティア</p>	9月16日 12月10日 2月11日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほく☆なつと	<p>【対象者】 障がいがある学齢期の人</p> <p>【目的】 夏休み期間中、保護者以外の人と楽しい時間を過ごす</p> <p>【実施内容等】 スタッフやボランティアと一緒に流しそうめんや工作、外出等を行った。</p>	事前交流会7月22日 （両コースとも） 2日活動コース 7月25日・26日 1日活動コース 8月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
粹な男の健康講座	<p>【対象者】 介護予防に関心がある男性</p> <p>【目的】 ロコモ予防体操と栄養講座・口腔衛生講座の参加を通じて、粹な体作りを目指す。</p> <p>【実施内容等】 8回の体操講座と口腔衛生・栄養改善講座を各1回実施。体操講座では、毎日取り組む運動宿題があり、活動日以外でも健康な体作りを気にかけて生活を目指して頂いた。</p>	8月～3月の 毎月第3火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
粹な男の料理教室	<p>【対象者】 料理に関心がある男性</p> <p>【目的】 調理実習を通じて介護予防に役立つ栄養等の知識を知っていただく。男性の仲間づくりを行う。</p> <p>【実施内容等】 調理ボランティアの協力を得ながら、4つのグループごとに調理実習を行ってもらう。完成した料理は同じグループごとに試食を行う。</p>	8月30日 11月29日 1月31日

平成29年度 自主事業報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者虐待防止ハ	<p>【対象者】 民生委員等高齢者に関わりのある方</p> <p>【目的】 虐待の疑いがある方がいた場合に、どのように対応していくかの流れをご理解いただく。</p> <p>【実施内容等】 港北区版高齢者虐待ハンドブックの周知と使い方について事業所や民生委員等地域向けに研修を行う。</p>	8月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操ボランティア	<p>【対象者】 地域の体操リーダーを目指す方、体操に関心がある方</p> <p>【目的】 高齢者の身体的特徴を理解し、地域で活躍する体操リーダー養成を目指す。</p> <p>【実施内容等】 座学での高齢者の身体的特徴、体操の実技、デイサービスでの体操指導実習などを行った。</p>	10月19日 11月2日 11月16日 11月30日 12月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上手な花の育て方	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 花の育て方を「土」「肥料」「病害虫」などテーマごとに学び、日々の生活に役立てる。ケアプラザで活動中の園芸ボランティアの活動に参加して下さる方が増えることを目指す。</p> <p>【実施内容等】 5日間でテーマごとの植物の育て方を学ぶ。また、デイサービスのベランダを彩る花の寄せ植えや管理を通じ、ボランティア活動に関心を持っていただく。</p>	11月28日 12月5日 12月26日 1月9日 2月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなし会ワーク	<p>【対象者】 未就学児の子どもが参加するおはなし会の企画運営に関心がある方。絵本や子供が好きな方。</p> <p>【目的】 絵本やおはなし会を通じて、子育てや子供へのボランティア活動に関心がある方が増えること。ケアプラザや地域の子育てサロンで活動して下さる方が増えること。</p> <p>【実施内容等】 絵本や紙芝居の読み方や手遊びの紹介と、グループに分かれておはなし会1回分の企画。ケアプラザの子育てサロンでの実施。</p>	11月2日 11月6日 11月9日 11月13日 11月23日

平成29年度 自主事業報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
共生まつり	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 日頃、ケアプラザや法人の活動にご協力いただいている方にお祭りを通じて楽しんでいただく。日頃、活動している方々にご協力いただきながら楽しいお祭りを実施する。</p> <p>【実施内容等】 法人各施設と協力しながら、イベントや模擬店、健康チェック等を実施する。</p>	10月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピンピンきらり講	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 栄養指導やお食事についての講義を通じて、健康寿命の延伸を目指す。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ協力医の先生による講義と栄養士による栄養指導や簡単にできる料理の紹介。</p>	11月18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉保健セミナー 介護予防入門講座 コグニサイズ体験会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 介護予防に関心を持っていただくこと、コグニサイズで楽しく頭と体を刺激する体験をしていただくこと。</p> <p>【実施内容等】 保健活動推進員と協力し講座を実施。保健師による、健康についての講話とデイサービスの指導者によるコグニサイズ体験会を開催。</p>	11月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
盲導犬に会いに行	<p>【対象者】 小学校3年生～中学生とその保護者</p> <p>【目的】 盲導犬の活動を通じ、視覚障がい者への理解を深めるとともに、福祉保健について関心を持っていただく。</p> <p>【実施内容等】 日本盲導犬協会神奈川訓練センターの協力で、盲導犬の活動や育成についての話を聞くとともに、障がい当事者の方のお話を聞かせて頂く。</p>	1月20日

平成29年度 自主事業報告書

新吉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
遺言・相続・成年後見セミナー	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 遺言・相続・成年後見等の話を弁護士から聞くことにより、高齢者期になってからの生活に備える心構えをして頂く。</p> <p>【実施内容等】 弁護士による「遺言」「相続」「成年後見」等についての説明と、希望者には個別の相談会を行った。</p>	3月3日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレで仲間を増やそう	<p>【対象者】 地域の活動リーダーの方、脳トレや健康づくりに関心がある方</p> <p>【目的】 脳を刺激する、体操やゲームの紹介を行い、地域の活動をしている方々が少しの時間でも地域で集まる方々の認知症予防に役立つ取り組みをしていただく。</p> <p>【実施内容等】 2日間でコグニサイズや脳トレに役立つ体操等の紹介を行った。</p>	3月9日 3月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設見学会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 近隣にある施設に訪問し、施設の機能や役割を知る。将来の介護状態に備える準備をする。</p> <p>【実施内容等】 送迎用の車両を活用し、車で各施設を回り見学を実施。昼食時には、施設の昼食を食べ施設での生活の様子を知るきっかけにする。</p>	3月17日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
丘の上倶楽部	<p>【対象者】 地域の民生委員</p> <p>【目的】 民生委員の方々に介護保険制度をご理解いただくこと。ケアマネジャーと顔の見える関係を作り、地域での見守り訪問等で役立てて頂く。</p> <p>【実施内容等】 民生委員の仕事、ケアマネジャーの仕事それぞれについて説明をしてもらい、グループに分かれて情報交換などを行う。</p>	2月27日